



発行人 福島県教職員組合  
発行所 福島市上浜町10-38 電話024-522-6141  
〔定価一部 20円〕  
編集・責任者 瀬戸 禎子  
e-mail: ftukyoso@poplar.ocn.ne.jp  
http://www.f-t-u.or.jp  
(この購読料は組合費に含まれています。)

**自動車共済**  
見積みキャンペーン  
実施中!!  
12月1日～2025年2月28日まで  
教職員共済

# 仲間と学びって、いいね!～専門部学習会～

## ☆ 青年部 ☆

11月30日、「福島県青年教育労働者教育研究集会」を会津若松市で開催しました。会津若松ザベリオ学園小学校で勤務されていた田中光夫さんから、「自分の教員人生を自由自在に生き抜くために」を演題に講演をいただきました。「フリーランスティーチャー」という新しい形の働き方や、田中さんの経験をふまえた仲間づくりのアイデアに関する内容は、とても興味深いものでした。



講師の田中光夫さん



どのテーブルも笑顔!

青年部常任委員を中心とした「ボードゲーム講座」でも、仲間づくりやコミュニケーションスキルを高めるのに役立つ、さまざまなゲームを行いました。初参加の方も多かったのですが、笑顔がだんだんと増え、歓声もあがる楽しいひとときを共有することができました。

翌日は、会津武家屋敷に会場を移し、ガラス工芸の体験を行いました。ガラスのタンブラーにイラストやメッセージなどを刻み、オリジナルの作品をお土産として持ち帰りました。



つながりを感じた2日間でした

今回はお子さんを連れて家族で参加した方もいました。青年部が大切にしている、「学習」と「交流」を存分に深めることができた2日間でした。

## ☆ 障がい児教育部 ☆



講師の大西孝志さん

11月23日、「福島県教組障がい児教育部学習会」を兼ねて「東北ブロック障害児教育学習会宮城集会」にオンライン参加しました。

東北福祉大学教授の大西孝志さんから、共に学ぶ教育の必要性と今後の課題について講演をいただきました。支援が必要な子どもが通常学級で多様な生徒や教員と関わることは、学びの深まりにつながります。障がいのある子もいない子も分け隔てなく学ぶ「インクルーシブ教育」の重要性が国内で認識されつつあります。しかし一方では、特別支援学校・支援学級在籍の子どもは急増し、きちんとした説明や保護者・本人の理解が追いつかないまま就学先が決められてしまうというケースもあるそうです。

インクルーシブ教育を主流にしていくために、教職員定数を大幅に増やす必要があることを痛感しました。最後に参加各単組からの情勢報告があり、特徴ある取り組みを聞くことができました。

## ☆ 養護教員部 ☆



11月16日に、「北海道・東北ブロック学習会」が行われ、オンラインで参加しました。

スクールカウンセラーの経験をもつ奥寺遼太さん(岩手県洋野町こども家庭センター)からは、「ケアすること」の再考や、養護教員の職務のありかたについて講演をいただきました。養護教員自身のケアについても触れられたほか、県内からの参加者への質問にも丁寧にアドバイスをいただきました。

分科会では宮城県の養護教員から、養護教員だからこそできる、子どもたちや同僚へのアプローチについて問題提起がありました。他県の参加者とともに、日々の悩みもまじえながら意見を交流しました。

参加した方からは、「心の整理ができた」「自分が日々行っている保健室経営に自信がもてた」「福島の仲間とともに視聴しながら交流できてよかった」と感想が寄せられました。

# 3年連続の月給、ボーナス引上げ！

## 33年ぶりの高水準！

### ボーナス支給月数は国水準を実現！

県教組は、11月7日・18日の2回にわたって、福島県教育委員会と交渉を行いました。賃金面では、人事委員会勧告通り実施することを合意し、その他、通勤手当等で前進がありました。結果は以下の通りです。

- 【月 例 給】若年層を重点に、全年齢層での給料月額引上げ（平均10,334円（+2.80%））  
初任給を引上げ（大卒程度+23,200円、高卒程度+23,600円、行政職給料表の場合）
- 【ボ ー ナ ス】期末手当・勤勉手当0.15月分引上げ（期末手当0.05月、勤勉手当0.10月ずつ配分、国家公務員水準に）  
年間支給月数は4.60月分になり、これまで求め続けてきた国水準を実現！
- 【寒冷地手当】支給月額を11.3%引上げ。新たな気象データに基づき、支給地域を見直し
- 【通 勤 手 当】支給額見直しは無し。新幹線等（高速道路）の利用に係る要件（通勤時間30分以上の短縮の廃止）
- 【扶 養 手 当】配偶者手当を廃止し、子に係る手当を増額（2年間で段階的に実施）

扶養手当		現行	2025年度	2026年度
配偶者	行政職給料表7級（相当）以下	6,500円	3,000円	廃止
	行政職給料表8級（相当）	3,500円	廃止	
子（1人当たり）		10,000円	11,500円	13,000円

- 【定年前再任用短時間勤務職員等の諸手当】  
特勤手当、特勤手当に準ずる手当及び寒冷地手当を支給

交渉において人員不足に絡め教員採用の状況を確認したところ、「概ね例年通り」との回答でしたが、合格者の7割辞退などの他県の事例をもとに、奨学金返済支援をはじめとした教職員確保に向けた取り組みを求めました。また、代替・補充者の配置について、現在行われている先行配置だけでなく、年度途中の配置に対応できるよう、あらかじめ多く採用することができる仕組みづくりや充て指導主事の活用について求めました。

また、9月に出された「教員の勤務実態調査結果」「教職員働き方改革アクションプラン取組状況調査結果」「教職員多忙化解消アクションプランⅡの総括」をもとに、更なる業務の削減・見直しを求めました。特に中学校職員の時間外勤務が減らない状況について「部活動の存在は大きい」として休日部活動の地域移行に向けた取り組みを求めました。しかし、地域移行についての県の調査に対し59市町村中35町村が未だ「検討中」と回答するなど消極的な姿勢を取っており、県教委が隣接する市町村同士の協同に向けて取り組むことや予算の確保、民間や他団体との連携推進に向けた一層の取り組みの強化を訴えました。

暫定再任用制度・定年引上げに関して、業務量・校務分掌の見直し、処遇改善を求めました。それに対し「人員不足を理由として見直しは困難」との回答がありましたが、県教委が責任をもって人員不足の解消にあたり誰もが働きやすい職場環境づくりを進めることを強く要求しました。

24年4月遡及分の差額は12月県議会での改定を経て12月末に支給されます。今回、例年よりも大きな金額での支給となりますが、それらが組合の弛まぬ交渉の成果であることをお伝えいただきたいと思います。





# 「知る」ことの大切さを再確認 「両性の自立と平等をめざす教育」研究会

11月30日(土)石川町母畑温泉を会場に、「両性の自立と平等をめざす教育」研究会が開催されました。コロナ禍で県レベルの集会がなかなかできず、4年ぶりの開催となりました。

今回は、石川町議会議員で元日教組女性部長を務めた星恵子さんのお話を聞きました。テーマは『「ジェンダー平等」から考える価値観や人生観』でした。

NHKの朝ドラ「虎に翼」が日本国憲法や民法改正、今までに無い戦争描写があり、ずばりジェンダー平等を堂々と扱っている、という導入から、自民党の憲法草案がいかに国民にとって危険な内容かということなど、丁寧にお話いただきました。

LGBTQやミソジニー(女性嫌悪)の実態など、今まで知っているようで知らなかった内容を学ぶとともに、個人が尊重されなければならない社会の実現が、だれもが輝ける未来につながるのだということを、改めて強く感じた学習会でした。



星 恵子さん

## 〈参加者の声〉

なかなか、学習できない内容を学ぶことができ、とても有意義な時間でした。子どもたちに関わる時も、きちんと「個人」として尊重することが大切だと思いました。

家庭科は、衣・食・住をまなぶための大切な学習であり、「家事労働」は「人生の楽しみである」と考えると、男女の差無く、家事にいそまないとだな、と思いました。



妻より自分の方が早く帰宅するので、家事は主に自分がやっている。食事の準備、洗濯物干しや片付けもそれほど苦にはならないが、それが当たり前と思われるのはどうかと思う。家事労働を担うことが多い日本の女性は、ずっとこのような気持ちだったのかと思うとジェンダー平等をめざす教育の必要性を強く感じた。

## 吉田書記次長の ふくしまオルグ紀行⑫

9月から11月にかけて「**県教組キャラバン**」を、全16支部で実施することができました。分会への連絡調整や、キャラバン当日の同行をしてくださった支部の皆さん、各分会で受け入れにご協力くださった皆さんのおかげです。ありがとうございました。

キャラバンでは、職場会を開いてくださった分会も多くありました。今回はその中から、いくつかの分会の職場会の様子を掲載します。



### 県中地区・A中学校分会

分会長のKさんと、事務職員のYさんの分会です。おふたりとも今年度からA中学校に勤務していますが、職員室の風通しがよく、働きやすいとのこと。

課題は「業務の多さ」。地域の行事に特設合唱部が参加しているそうですが、音楽の教員が生徒会も担当しているとのこと。「一部の職員への業務の偏りを、次年度は少しでも解消できるように声をあげたい。」とKさんは話していました。



### いわき地区・I小学校分会

分会長のKさんをはじめ、8人の分会です。新採用の先生も組合に加入してくれました。図書室に集まり、普段感じていることを話していただきました。人手不足が切実で、「小学校にも副担がいると助かる」などの声が挙がりました。「ひとりりで感じていたことを、みんなで共有するよい機会になってよかった。」と感想をいただきました。



# 新春プレゼント企画！クロスワードパズル

県教組組合員のみなさま、今年も大変お世話になりました。日頃の感謝の気持ちを込めて、毎年恒例の新春プレゼント企画を実施いたします！クロスワードパズルの正解者の中から抽選で、豪華賞品をプレゼントいたします！新春プレゼント企画でリフレッシュしていただければと思います。みなさま、どうぞ良いお年をお迎えください。



特賞

## 「あづま荘」ペア宿泊券！ 5組 10名様

公立学校共済組合飯坂保養所 飯坂温泉あづま荘様のご厚意によります。  
その他、豪華商品（提供：教職員共済様、弘済会様他）も当たります!!



### 応募方法

ハガキまたは県教組LINE公式アカウントへのメッセージでご応募ください。

①□に入るキーワード ②支部名 ③分会名 ④名前 ⑤県教組への一言 を記入。

### 2025年1月14日(火) 必着

締切

※当選者の発表は、各分会への景品発送にて代えさせていただきます。

宛先

〒960-8134 福島県福島市上浜町10番38号

福島県教職員組合 宛



公式LINE  
はこちら！

□に入る文字を並べ替えて  
できるキーワードは  
なんでしょう？

--	--	--	--	--	--	--

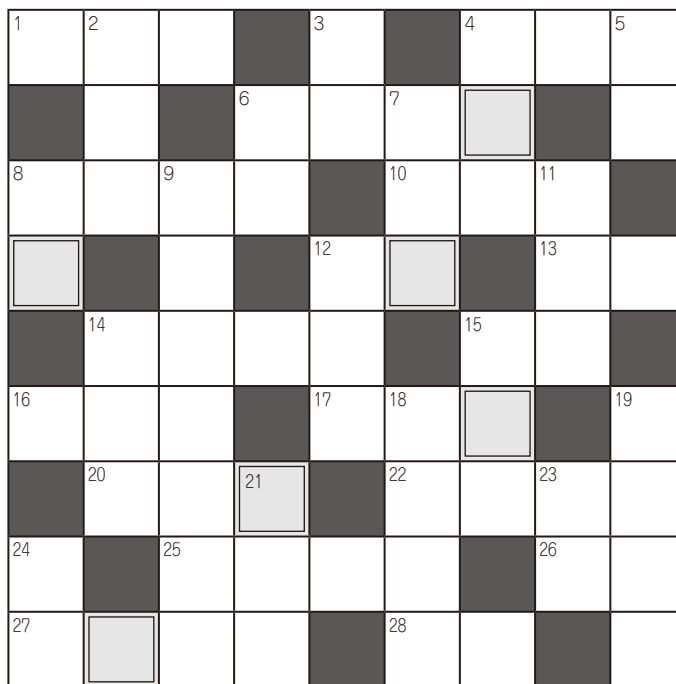
タテのカギ↓



24	23	21	19	18	15	14	12	11	9	8	7	6	5	4	3	2
「鱒」 次の漢字を何と読むか。	液などが部分的にしみついて汚れたところ。	意味・用法などを説明した本。辞典。字引。	言葉を集めて、一定の順序に配列し、発音・表記・意味・用法などを説明した本。辞典。字引。	上等の茶葉をうすでひいて粉末にしたもの。	月曜日の次の日。	家庭に一台、冬季用の灯油の大型のこれがある。	液体や気体を貯蔵する大型の容器。北海道では家庭に一台、冬季用の灯油の大型のこれがある。	その個人や物だけが持っている特長や性質。特性。	雪が激しい風に吹かれて乱れ飛びながら降ること。	栗などの実のまわりにある、とげのついた外皮。	入浴用の湯をたたえておく大きな容器。浴槽。	書かれた文字。書いてまとめた物。	太陽が沈む方向。	底が平らで鼻緒が付いているはきもの。	蒸したもち米をうすなどにつき、様々な形にまとめた食品。	道や進む方向が右へ曲がること。

### ヨコのカギ→

- 1 羊毛などで織った厚い布。寒い地域ではほとんどの家にある。
- 4 餅を主体にし野菜、魚介類、鳥肉などを配した汁物。正月の祝い料理とする。
- 6 物を支える柱。つかいぼう。
- 8 一つにまとまること。ひとまとめ。
- 10 薄い鉄板にすずをめっきしたもの。
- 12 水にうくように作った乗り物。
- 13 空気を伝わって、音波によって耳に伝わるひびき。
- 14 米のつぶ。
- 15 牛・豚などの舌の肉。
- 16 目で物を見ている方向。
- 17 のどから肺に通じる管。呼吸をするときの空気の通り道。
- 20 今より前のある時。その時。しばらく。
- 22 ふろのある部屋。ふろ場。
- 25 まだ習っていないところを前もって勉強すること。
- 26 人・車などが往来する所。通路。道路。
- 27 割り算で割り切れずに残った数。余り。
- 28 交通・輸送機関の運行・輸送。手紙。たより。



【提供元：クロスワード.jp】